

ここに注目！



長年にわたる女性部主導の中山間地域との交流事業

ポイント

壱番街商店街では、中山間地域の産品を販売する「おかみさん市」を女性部が主体となって10年以上取り組んでいる。現在、20以上の組織や個人が出店する中山間と中心市街地の架け橋となる交流モデルとして育っている。

【現状分析及び課題抽出】

Plan

立地環境を活かした取組へ

様々なイベントが開催される中央公園やアンテナショップ「てんこす」の近隣への立地や高知県内唯一の百貨店が商店街に立地しているなどの環境を活かし、各種事業に取り組んでいる。

また、「豊かなむらづくり表彰事業」で内閣総理大臣賞を受賞した十和村おかみさん市の商店街への誘致をきっかけとしてはじめた「おかみさん市」も、本商店街の特徴的な取組として開催している。

【対応策の優位性】

Do

近隣施設や地元百貨店との連携

観光名所である「はりまや橋」に近く、高知県内唯一の百貨店を擁する商店街であることから、高知県内外から多くの方が訪れており、夏のよさこい祭りや冬のイルミネーションやレーザーイベント、中山間地域の産品を販売する「おかみさん市」など、これまでも誘客に向けた多彩なイベントに取り組んできている。

平成25年度以降は国の地域商店街活性化事業を活用し、新たに地元百貨店の屋上で演劇を行う文化イベント「壱番街劇場」を立ち上げ、幅広い世代に交流の場を提供している。この事業を通じて、劇団・アーティスト等新たなつながりを広げている。

基本データ

壱番街商店街振興組合

所在地:高知県高知市帯屋町

人口:約34万人(高知市)

会員数:32名

店舗数:32店舗(買回品小売店14、最寄品小売店6、飲食店8、サービス店3、その他1)

商店街の類型:広域型商店街

主な客層:主婦、会社員、家族連れ

関連URL:<http://yosakoi-town.net/>

商店街概要

本商店街は高知駅、はりまや橋、日曜市が開かれる追手筋が近く、様々なイベントが開催される中央公園や街のアンテナショップ「てんこす」とも近接している。商店街東側で接する南北の電車通りには、はりまや橋を中心として土産品店が多く、「蓮池町」・「はりまや橋」の電停・バス停があり交通至便である。組合員店舗には高知の特産品・土産物を取り扱う店や郷土料理店を中心として、幅広い業種の買回品店があり、また、高知県内唯一の百貨店も組合に加入している。



「はりまや橋」に近く、県内唯一の百貨店を擁する

【効果の評価及び改善策】

Check-Action

「壱番街劇場」による新たな層の獲得

近隣の商店街と比較して、郷土料理などの飲食店の多い商店街であり、イルミネーションやレーザーイベ

ントなどの夜間の取組を通して、飲食店への誘客の確保などにつながっている。

また、平成 25 年度から始めた「壱番街劇場」では、百貨店を開催場所とし、新たな層の来街動機の創出につながるものと期待している。また、同事業の開催に伴い、夏のよさこい祭りなど、春夏秋冬の各シーズンに大規模なイベントが開催されることで、市民に対する中心商店街のアピールについても大きく貢献している。

同席し、事業実施にあたっての課題などを共有し、それに基づいたアドバイスなども行っている。また、本商店街は空き店舗が全くない状態であり、事業費の確保についても組合費等で賄えている状況である。



新たな層の来街・集客につながる「壱番街劇場」

[実施体制等]

女性理事長の強力なリーダーシップ

事業の実施にあたっては、女性理事長の強力なリーダーシップのもと、会場の運営を青年部、イベントの実施内容や出演者交渉を女性部が行うなど、組合役員のみが主導する体制でなく、親会、青年部、女性部が一丸となって取り組む全員参加の体制を取っている。事業内容の協議などを行う際は、高知県商店街振興組合連合会の担当者のみでなく、県、市の商業担当者も



キーパーソン

壱番街商店街振興組合
理事長 小林 和子

みんなで一緒に考え、みんなで実践！

壱番街商店街は高知市の中心商店街の中にあり、県内唯一の百貨店も組合員の一員であることや、はりまや橋に近いこと等から、県内外から多くのお客様にお越しいただいています。

私は平成 21 年に理事長に選任されて以降「どうすれば多くのお客様にお越しいただけるかを皆で一緒に考え、来たお客様には快適にショッピングを楽しんでいただく」を運営方針に、イベントの企画や運営を青年部女性部総動員で進めたり、アーケード内の街路樹の手入れやごみ箱の管理、季節の装飾や大掃除など、組合員全員で行っています。

また、高知市の名物「日曜市」のお客様を商店街に誘導するため、県内の中山間地域の特産物などを生産者から直接販売していただく「おかみさん市」を毎週日曜日に開催しています。そのような中から新しいつながりも生まれてきています。

これからに向けても「みんな」でチャレンジ

土佐の女性は「はちきん」と呼ばれ、明るく元気で「前向き」です。私も前向きで元気な方だと思いますが、強引に独りよがりて事を進めることはモットーに反します。アイディアは皆で出し合い、何か新しいことにチャレンジする際には組合員はもとより、高知県商店街振興組合連合会・高知県・高知市の担当者にも企画段階から入っていただき実践してきました。

壱番街商店街は一つの店舗が比較的大きいため、組合員数が他の商店街に比べ少ないことなどから青年部の人数も少なく、課題も抱えていますが、これからも組合員・関係機関・行政などが一丸となった「チーム壱番街」を発展させ、今後の街づくりをみんなで膝をつきあわせ、考え、共有していきたいと思っています。